

# 英語必須、個性伸ばして

## 国際交流テーマに特別講義

静岡福祉大



国際交流をテーマにした特別講義

焼津市本中根の静岡福祉大

静岡福祉大はこのほど、海外教育研修事業を手がける「アイエスエイ」(東京都)の平田敏之取締役を講師に招き、国際交流をテーマに特別講義を行った。平田氏はグローバル化社会で生き抜くために、英語を使いこなすことは必須とした上で、得意なものを磨いて個性を伸ばすことの重要性を説いた。

平田氏は各種データを示

しながら、日本人の若者が他のアジア諸国に比べて、海外留学への意欲が薄く、自己肯定感が乏しいことを指摘。経済成長する東南アジア諸国の現状を紹介し、「変化の激しい社会に飛び込むことでさまざまな可能性が生まれる」と、海外留学を勧めた。

日本企業でも社員の多国籍化が進み、英語力は必須条件になると予測。英語を身に付かせるためには「自転車に乗るのと同じ。触れる時間を増やすことが大切」と説明した。さらに

企業の人事担当の声を紹介

しながら「際だった何かを持つ人材になってほしい」と語りかけた。

同大は今年、韓国・東国大学校WISEキャンパスと連携協定を締結。国際交流に力を入れていく。